

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公開番号】特開 2018-121161 (P2018-121161A)

【公開日】平成 30 年 8 月 2 日 (2018.8.2)

【年通号数】公開・登録公報 2018-029

【出願番号】特願 2017-10447 (P2017-10447)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/10 (2006.01)

G 0 3 B 27/62 (2006.01)

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/10

G 0 3 B 27/62

H 0 4 N 1/04 1 0 6 A

H 0 4 N 1/00 1 0 8 H

H 0 4 N 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

そして、原稿カバー 9 が前記開状態から前記閉状態に変位する過程で所定の角度（一例として  $20^\circ \pm 5^\circ$ 、好ましくは  $18^\circ$ ）になった際に、回動レバー 15 の一端 17 が、押圧部 13 に外力 F（図 8 等参照）を作用させて該押圧部 13 を押し下げてスイッチ 11 の状態（例えば ON 状態と OFF 状態）を変化させる。前記所定の角度から、前記閉状態に変位する過程においては、回動レバー 15 の一端 17 が、前記付勢力に抗して原稿カバー 9 に近づく方向 C に回動しながら、継続して押圧部 13 を押し下げてスイッチ 11 の前記状態を維持するようになっている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

(C) 閉状態（図 6 及び図 9 参照）

原稿カバー 9 が更に閉方向に回動して閉状態に至ると、回動レバー 15 の一端 17 に形成されている当接面 43 が支持板部 45 の表面に当接することにより、これ以上の下方への移動が規制される。

これにより、回動レバー 15 は回動軸 37 を支点として付勢部材 19 の付勢力に抗して収容方向 C に回動するようになり、カバー側開口 35 の内部にその回動角度に応じた所定の量が収納されて行く。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 7 】

( H ) 原稿サイズと原稿サイズ検知センサーとの位置関係と、各原稿サイズ検知センサーによる原稿の有無検出結果に基づく原稿サイズの判定 ( 図 1 9 及び図 2 0 参照 )

本実施形態では、載置面 3 の左右方向 V の読取開始端 V 1 に沿う位置に基準点 O に近い方から 2 7 A、2 7 B、2 7 C、2 7 D、2 7 E の順で 5 個の原稿サイズ検知センサーが配置されている。また、これら 5 個の原稿サイズ検知センサー 2 7 A ~ 2 7 E から左右方向 V に離間し、左右方向 V、前後方向 H のそれぞれが異なる位置に 2 個の原稿サイズ検知センサー 2 7 F、2 7 G が配置されている。

また、図中、A 6 V で示す原稿 P は A 6 サイズ縦向きでセットされた原稿 P を意味し、A 6 H で示す原稿 P は A 6 サイズ縦向きでセットされた原稿 P を意味し、A 6 H で示す原稿 P は A 6 サイズ横向きでセットされた原稿 P を意味している。同様に A 5 ~ A 3、B 6 ~ B 4 の各サイズの原稿 P も、縦向きでセットされたものは末尾に「 V 」を付け、横向きでセットされたものは末尾に「 H 」を付けてこれらを識別している。